

振り込み詐欺とは

電話やはがきなどの文書などで相手をだまし、金銭の振り込みを要求する犯罪行為。現在下記の4つに分類されている。

○オレオレ詐欺

電話を利用して、親族を装い、示談金名目で、現金を振り込ませたり手渡しさせたりする等の方法によりだまし取る詐欺。警察官、弁護士等を装う場合もある。

○融資保証金詐欺

実際に融資しないにも関わらず、低金利で融資する旨のハガキを郵送する等をし、申込者に対し「保証金として、先に〇〇万円振り込んでください」などとしてお金を振り込ませる詐欺。

データは奈良県警察本部提供

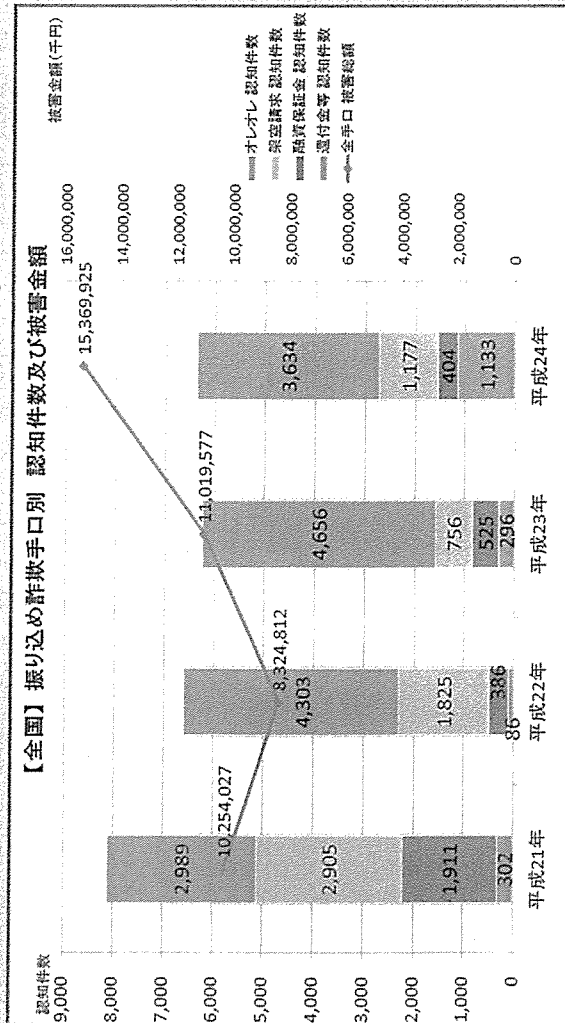
○架空請求詐欺

「インターネット有料サイトの未納金がある」など、架空の事実を口実として料金を請求する文書を不特定多数に送付するなどして現金を振り込ませる詐欺。

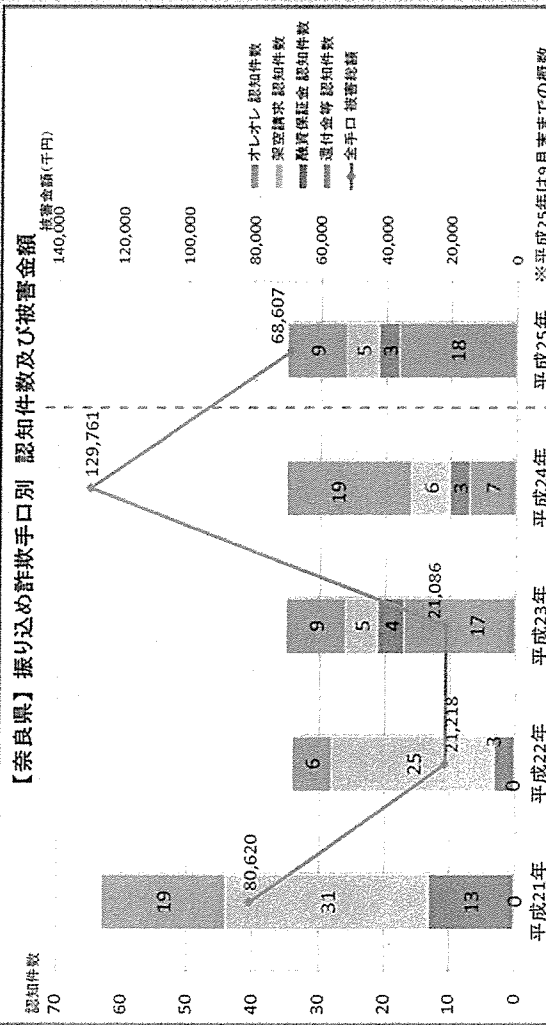
○還付金詐欺

税務署や社会保険事務所などをかたり、税金の還付などに必要な手続きを、被害者にATMを操作させ、口座間送金により現金をだまし取る詐欺。

振り込み詐欺の現状

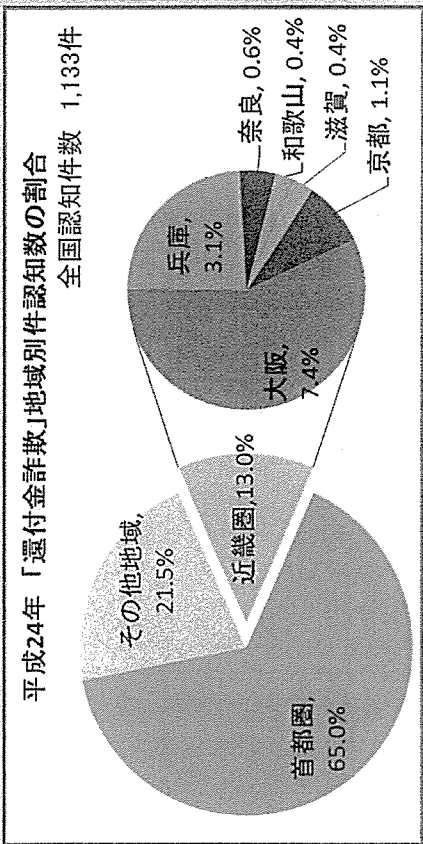
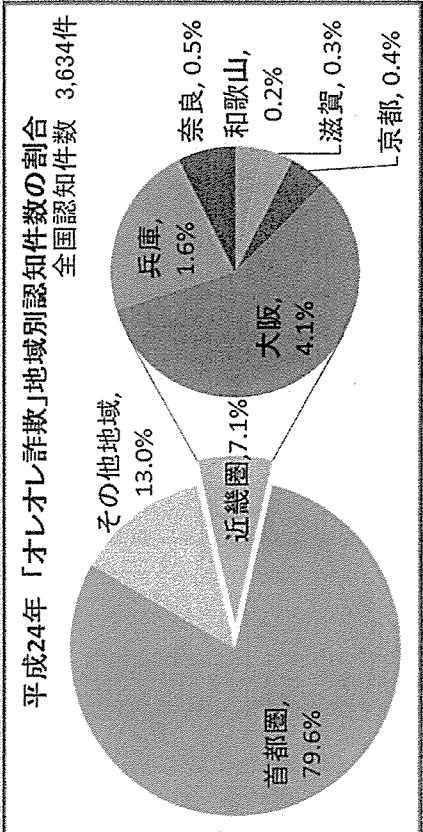


全国的における認知件数は、平成22年からの3年間はほぼ横ばい傾向にあるものの、平成22年以降被害金額については増加傾向にある。振り込み詐欺の手口件数は、依然として「オレオレ詐欺」が一番多いが、平成22年以降「還付金詐欺」の件数が年々増加傾向にある。



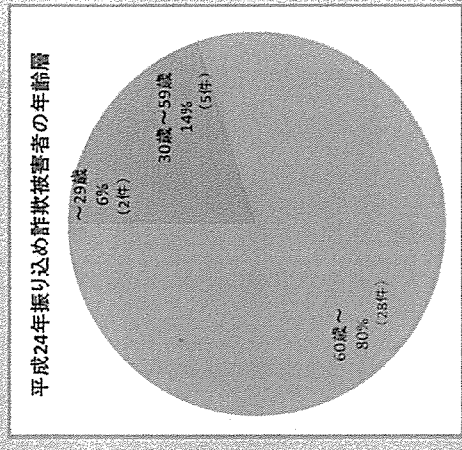
奈良県における認知件数は、全国と同様に平成22年からの3年間はほぼ横ばい傾向にあるが、平成25年9月末現在の認知件数は、既に平成24年の認知件数と同じ件数に達している。特に、全国と比較すると「オレオレ詐欺」の認知件数に比べ「還付金詐欺」の認知件数が大きく伸びている。

地域別振り込み詐欺認知件数の割合



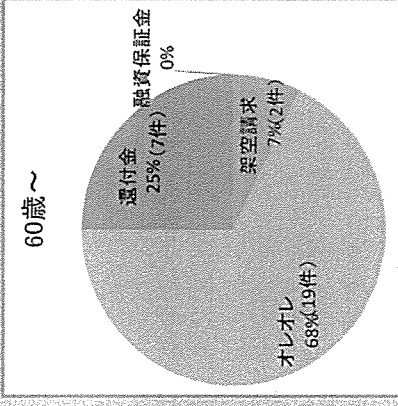
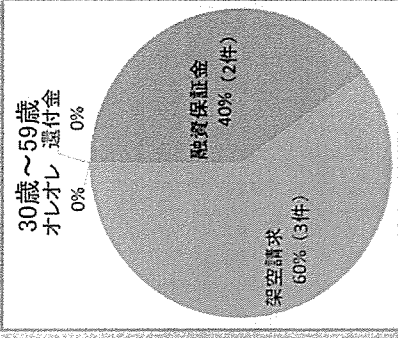
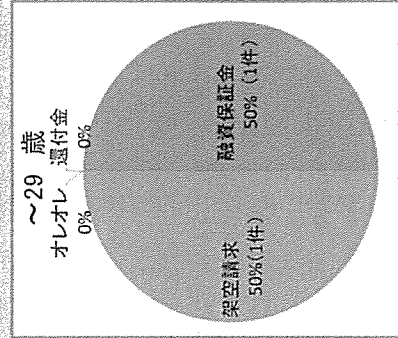
平成24年の近畿圏が占める「オレオレ詐欺」認知件数の割合は7.1%だが、「選付金詐欺」の認知件数の割合は13.0%となっており、全国と比べて「選付金詐欺」の認知件数の割合が高い。

奈良県における被害者の年齢層



振り込み詐欺の奈良県における被害者を年齢別に見てみると、60歳以上が80% (35件中28件) を占めている。

平成24年被害者の年齢層別振り込み詐欺手口の割合



・29歳までの年齢層では、「融資保証金詐欺」と「架空請求詐欺」が50%と同じ割合であるが、30歳～59歳までの被害者の年齢層では、「架空請求詐欺」の割合が高くなっている。また、「オレオレ詐欺」と「選付金詐欺」は認知されていない。
 ・60歳以上の年齢層では、他の年齢層では認知されなかった「選付金詐欺」が25%、「オレオレ詐欺」が68%で全体の93%を占めており、特に「オレオレ詐欺」の割合が高くなっている。また、他の年齢層でも認知されていた「架空請求詐欺」の割合は7%と低くなっており、「融資保証金詐欺」は認知されていない。